

学位授与方針 [修士(英米言語文化)] [修士(中国言語文化)] [修士(比較文化)]

(英米言語文化)

■ 知識・理解

- 英米語圏の言語、文学、文化に関する高度な知識を身に付け、専門的職業人と研究者として、国際社会に役立てる能力を修得する。

■ 技能

- 高度な英語力を持つ専門的職業人と、あらゆる資料を駆使し適切に分析し研究できるようになる。

■ 態度

- 専門的な言語・文化知識を生かし、グローバル社会が抱える課題を主体的に解決できるようになる。

(中国言語文化)

■ 知識・理解

- 中華文化圏の言語、文学、思想、文化に関する高度な知識を身に付け、専門的職業人と研究者として、国際社会に役立てる能力を修得する。

■ 技能

- 高度な中国語力を持つ中国研究の専門家として、あらゆる資料を駆使し適切に分析し研究できるようになる。

■ 態度

- 専門的な言語・文化知識を生かし、グローバル社会が抱える課題を主体的に解決できるようになる。

(比較文化)

■ 知識・理解

- 日本の言語、文学、思想、文化に関する高度な知識を身に付け、他文化との比較研究を通じて、専門的職業人と研究者として、国際社会および地域社会に役立てる能力を修得する。

■ 技能

- 深い日本文化の造詣を持つ高度な専門的職業人と、あらゆる資料を駆使し適切に分析し研究できるようになる。

■ 態度

- 専門的な言語・文化知識を生かし、グローバル社会が抱える課題を主体的に解決できるようになる。

教育課程編成・実施方針

社会システム研究科文化・言語専攻では、教育目的を達成するため、以下の方針に基づき、教育課程を編成し、実施する。

- 教育課程は、「専攻共通科目」「専門基礎科目」「専門科目」「特別研究科目」の4つの科目区分で構成し、コースワークによって体系的に学習し、修了に必要な所定の単位30単位以上修得するものとする。また、幅広く学際的な知見を獲得していくため、所属する専攻以外の「専門基礎科目」及び「専門科目」の授業科目を履修し単位を修得することができる。

□ 専攻共通科目

現代の社会システム全般を対象として取り上げ、多領域的な視点からアプローチしていくことを学ぶための科目であり、コースワークの概論科目として「社会システム総合概論」を1年次1学期に開設する。2単位必修とする。

□ 専門基礎科目

各専攻分野に関する基礎的な専門知識や能力を習得させるための科目区分である。「英米言語文化」「中国言語文化」「比較文化・言語」の3つの分野の科目群を配置している。1年次1学期から履修し、所属する専攻の科目群から6単位以上修得する。

<英米言語文化科目群>

高度な英語の運用能力を獲得するとともに、英語圏の文化、文学、価値観、思考方法についての深い知識、高度な研究能力を養成していく科目群である。専門基礎科目として、イギリス文学研究概論、アメリカ文学研究概

論、英語学研究概論などを配置している。

<中国言語文化科目群>

高度な中国語の運用能力を獲得するとともに、中国の文化、文学、価値観、思考方法についての深い知識、高度な研究能力を養成していく科目群である。専門基礎科目として、中国語法研究概論、中国文化研究概論、中国思想文化研究概論を配置している。

<比較文化・言語科目群>

比較文化、日本文化、日本語への深い知識を獲得し、複眼的視野から探求していく高度な能力を養成していく科目群である。専門基礎科目として、比較文化研究概論、日本文化研究概論、言語学研究概論などを配置する。

□ 専門科目

各専攻分野に関する専門的知識や能力を習得させるための科目区分である。「英米言語文化」「中国言語文化」「比較文化・言語」の3つの分野の科目群を配置している。1年次2学期から2年次修了までの間に履修する。所属する専攻の科目群から6単位以上修得する。

<英米言語文化科目群>

専門科目として、英語表現法、イギリス文学研究、アメリカ文学研究、社会言語学研究などを配置している

<中国言語文化科目群>

専門科目として、中国民族文化研究、中国語教授法研究、中国語音声学研究などを配置している。

<比較文化・言語科目群>

専門科目として、日本宗教文化研究、比較広域文学研究、理論言語学研究などを配置している。

□ 特別研究科目

自ら研究課題を設定し研究活動を遂行できる創造力、自立力を養成するための科目区分である。研究課題の設定から、論文の構想検討、中間発表、論文提出に至るプロセスを重視する。1年次2学期から2年次修了までの間に特別研究1、特別研究2、特別研究3を履修する。6単位必修とする。

また、特別研究1、2、3の準備段階として、研究の課題設定、研究計画の作成、研究の進め方、研究分野に関する学術論文等の講読指導など、論文作成の入門・基礎を学ぶ特別研究基礎を選択科目として配置している。

- 学会発表など優れた業績を上げ、優秀な修士論文を完成させて、修了に必要な所定の単位30単位以上を修得した場合、1年以上の在学があれば修了することができるものとする。

## 入学者受入方針

社会システム研究科文化・言語専攻では、以下のような人を求めています。

- すでに身に付けている高度な言語力を生かし、言語学、文学、思想、文化などの専門分野についての研究を目指して、国際社会における異言語・文化間に架橋できるような広い視野を具えようとする人
- すでに英語の普通教育免許状の一種免許状を取得し、言語・文化に関する専門知識と研究能力を一層向上させるために、大学院で修士の学位を取得し、英語の専修免許状を取得しようとする人
- すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または各種の研究施設の研究者を目指す人
- 言語・文化に関する一定の知識を有し、グローバル化する世界情勢に対応するため、日本語・日本文化のみならず、英語、中国語などを自国の言語・文化との比較研究を行い、母国の文化発展に貢献したい人